

クマによる人身被害を防ぐための『熊講習会』を開催



5月11日、5月15日の2回に分けて、立山砂防事務所職員と工事・業務受注関係者を対象に「熊に関する講習会」を開催しました。講師に立山カルデラ砂防博物館の白石 俊明氏を迎えて、クマの生態や遭遇しないための準備、遭遇した際の行動などの座学と、屋外での熊スプレー（練習用）の体験を行いました。立山の麓でのクマによる人身被害が実際に発生した直後ということもあり、参加者はクマの生態や遭遇した時の行動について学習しました。

日時：令和8年5月11日（月）、15日（金）10：00～11：00

場所：立山砂防事務所（2階 会議室）

参加者：立山砂防事務所職員、工事・業務受注関係者



講習内容1：「熊に遭遇しないためには」

クマの生態を知り、クマに遭遇しないようにする！

- ・クマは250～300gの子供を2頭産む。
- ・肉食から草食へ進化した、胃は草食の時のままで胃の中の微生物が消化するため、大きな胃を持つ。
（そのため冬眠前にたくさん食べて満たそうとする）
- ・走る速さは時速40kmと言われる。
- ・最大の武器は爪。引っかかれると失血死する恐れも。
- ・クマ鈴は聞こえ方の違う2種類以上を持つと良い。
- ・ゴミは必ず持ち帰る（休憩所にゴミ箱は置かない）



※写真は配布資料 北陸電力（株）新価値創造研究所リーフレットより



講習内容2：「熊に遭遇したら」

熊に襲われそうになったら、首ガード・うつ伏せ法で身を守る！

ヘルメットとリュックサックの着用が基本です



- 素早くしゃがんでうつ伏せになる！
- 後ろで手を組み、首を守る！
- 足を上げてひっくり返されるのを防ぐ！

※ヘルメット → 「頭部」
※リュックサック → 「背中」を守ることができます。

被害を最小限にするために、素早く防御姿勢をとりましょう！

足は噛まれるかも！ガマン！

5月11日の講習会の様子



EPA認証のクマスプレーを準備しましょう



安全ピンを素早く抜くことも重要！

5月15日の講習会の様子



スプレーは行き帰りの分です。最低2本が望ましいです（できれば1本/人）

